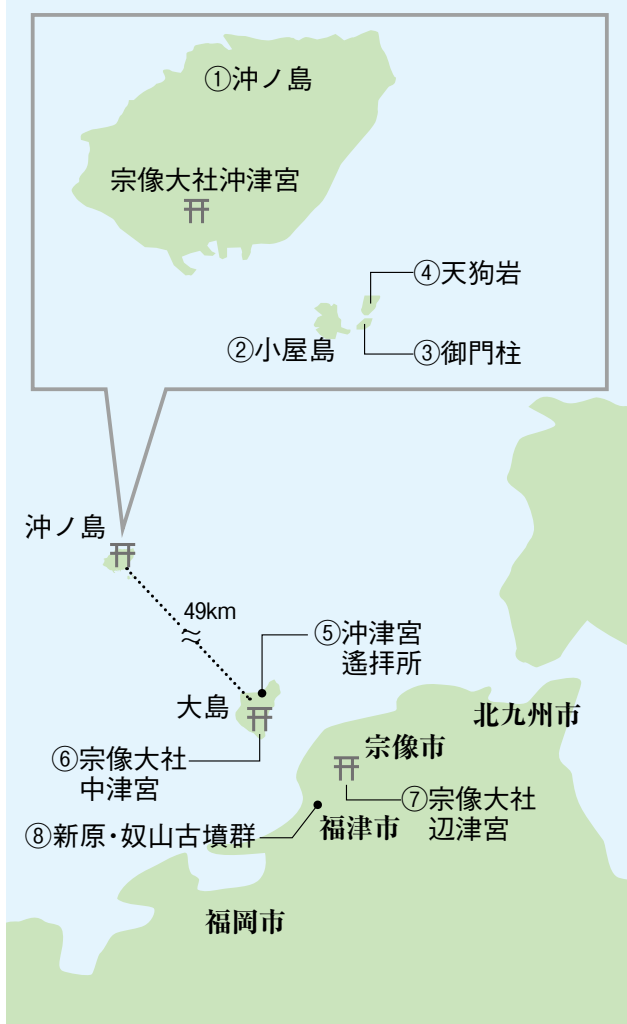


トピックス

※トピックス記事の中には、議会のホームページで詳しく掲載しているものもありますので、ぜひ、ご覧ください。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群がユネスコ世界遺産に登録決定!



7月9日、ポーランドで開催されたユネスコの世界遺産委員会において、県議会も力を入れて取り組んできた『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』の世界遺産登録が決定しました。

今年5月、ユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議(イコモス)が、日本が推薦した8件の構成資産のうち大島と九州本土の4件は除外すべきという勧告を出したことから、地元では世界遺産登録そのものを不安視する向きもありました。そのため県議会では、イコモスによる勧告後も、国や地元関係者と一緒になって8件の構成資産の一体性を訴え続けてきました。今回、8件すべての構成資産が登録されたという最高の結果となったのも、こうした中央や地元関係者全員の力が結集した成果であったと考えています。

世界遺産委員会に出席予定であった樋口明議長は、この度の九州北部豪雨被害を受け、急きょ、小川洋知事とともに委員会開催前の帰国となりましたが、ポーランドには地元選出の伊豆美沙子議員が残り、宮田亮平文化庁長官や谷井博美宗像市長、原崎智仁福津市長などとともに最後まで委員国への働きかけを行い、決定の瞬間を現地で見届けました。

また、登録決定の瞬間は、宗像市の「海の駅むなかた館」でもインターネット中継され、県議会からは議長代理として守谷正人副議長、堤かなめ県民生活商工委員長や地元議員等が出席し、県や地元自治体をはじめ多くの関係者や地元住民が審議を見守る中で届けられた朗報に、会場は歓喜に包まれました。

県議会を代表し、守谷副議長は、祝意とともに「県議会では今後も『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』が世界に誇れる遺産として、しっかりと魅力を発信し、地域振興、地域の活性化につなげるよう取り組んでいきます」と挨拶しました。



NHK大河ドラマ招致に向けた協力要請

5月8日、柳川市の金子健次市長が関係者の皆さんとともに県議会を訪問され、中尾正幸議長(当時)、藏内勇夫九州の自立を考える会会長、地元選出の梶島徳博議員、板橋聡総務企画地域振興委員長がお迎えしました。柳川市では、戦国武将で柳川藩主の立花宗茂公と妻の闇千代(ぎんちよ)姫を主人公としたNHK大河ドラマの2020年放送に向け招致活動に取り組まれており、その協力要請のため訪問されました。

金子市長は、甲冑姿で協力依頼の口上を述べられ、中尾議長は、「大河ドラマが招致できれば、地域活性化にもつながり、街づくりの大きなチャンスになります。ぜひ、勝ち取っていただきたい」と述べました。



福岡県茶共進会受賞者による県議会訪問

6月23日、平成29年度福岡県茶共進会を受賞された樋口龍也さん(「煎茶の部」第一位)、城昌史さん・志穂さん(「玉露の部」第一位)が、藏内勇夫議員(福岡県茶業共進会会長)、桐明和久議員(福岡県茶生産組合連合会副会長)とともに県議会を訪問され、樋口明議長がお迎えしました。

福岡県茶共進会は、県内の茶業関係者が茶の生産技術と品質向上を図り、本県茶業の発展に寄与することを目的に毎年開催され、今年は煎茶の部に142点、玉露の部に107点が出品されました。樋口議長は受賞された皆さんにお祝いを述べるとともに、「県議会としても『福岡の八女茶』ブランドが国内外で確固たる地位を確立できるよう取り組んでいきたい」と述べました。



タイ王国バンコク都訪問(福岡へのタイ総領事館の誘致に向けた協力要請等)

5月9日から13日まで、中尾正幸議長(当時)を団長とし、九州の自立を考える会の藏内勇夫会長、自民党県議団の原口剣生会長、民進党・県政県議団の吉村敏男会長、緑友会の林裕二会長をはじめとする公式訪問団及び福岡県タイ友好議員連盟の議員が参加し、福岡県議会との友好提携締結から10周年を迎えたバンコク都議会を訪問しました。

クリアンサク・ロハチャラ議長は、「両議会の交流は両地域の発展にとってとても重要なものであり今後も両議会の交流はより活発で充実したものになるでしょう」と挨拶されました。これに対し中尾議長は、



タナサク副首相(右)と会談する樋口議長

「この後締結する覚書には、新たに公衆衛生、地域開発等の分野も加えることとしており、これにより一層充実した交流が実現することを心から願っています」と挨拶し、両議会の更なる協力関係に関する覚書に調印しました。この他、バンコク都へ寄贈した消防自動車が配置されているプラカノン消防署を訪問し、活用状況について報告を受けました。

また、5月28日から31日まで、福岡県議会が執行部とともに実現に向けて取り組んでいる福岡へのタイ総領事館の誘致について、ソムキット・チャトゥシピタク副首相やタナサク・パティマプラゴーン副首相等に協力を要請するためタイを訪問しました。樋口議長は、「両地域の今後の経済・文化・人的交流の一層の発展のために、九州を所管する総領事館を福岡に設置していただきたい」と述べ、協力の要請を行いました。これに対しソムキット副首相は、「福岡は大切な都市であり福岡への総領事館設置については賛成、外務省にもっと可能性を検討するよう伝える」と述べられました。タナサク副首相からも「設置に賛成している。自分もサポートしたいと思う」という回答を得ることができました。

